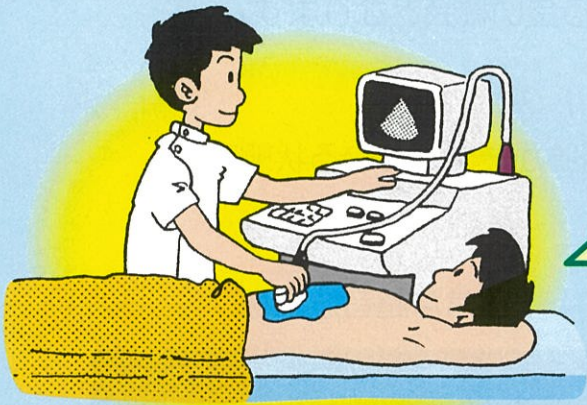


肝臓・胆のう・膵臓・腎臓

超音波検診を受けてみませんか？



肝胆膵腎超音波検診は このようにして行われます

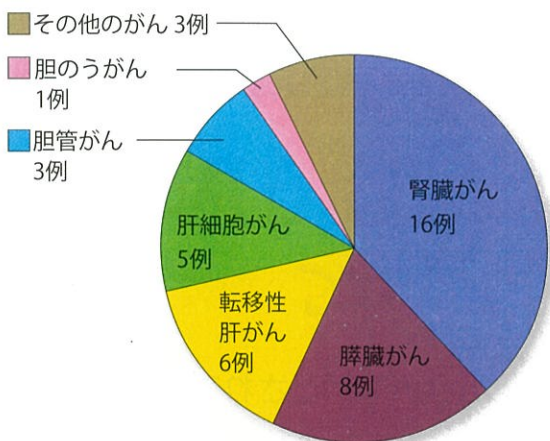
この検査は、苦痛がなく、人体には影響のない超音波をお腹に送り、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓などの形・大きさ・内部構造を観察します。

1 肝臓・胆のう・膵臓・腎臓などのがんを発見できます。

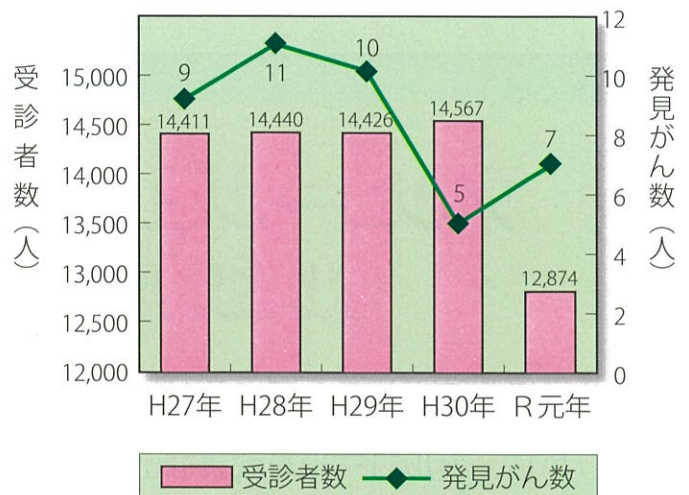
超音波検査は、その中でも、腎臓がんの早期発見が可能な検査です。血液検査、尿検査に異常が現れる時期は、進行していることが一般的です。

胆のう結石は、胆のうがんの危険度が男性で5倍、女性で2倍高いという報告もあり、適切な経過観察が重要です。

がん発見数(H27年度～R元年度) 全数=42例



当協会の受診者数と発見がん数



**超音波検診は、あなたの健康を守る大切な検査です。
ぜひ、定期的に受診しましょう。**

2

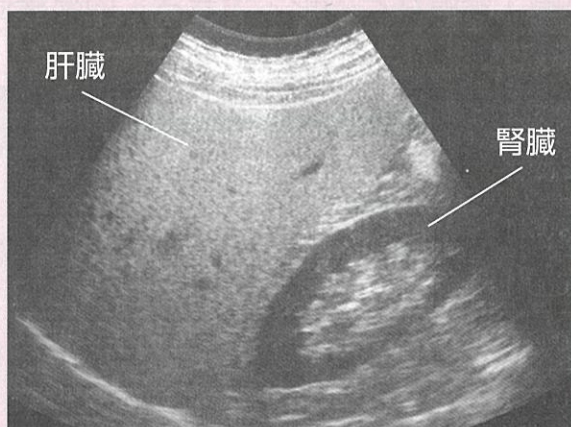
メタボリック症候群の早期発見（脂肪肝）

⇒ 生活習慣病の見直しを早期に開始できる。

超音波検診は、メタボリック症候群の初期のサインでもある脂肪肝を容易に発見できます。軽症のうちに生活習慣の見直しを行う良い機会となります。

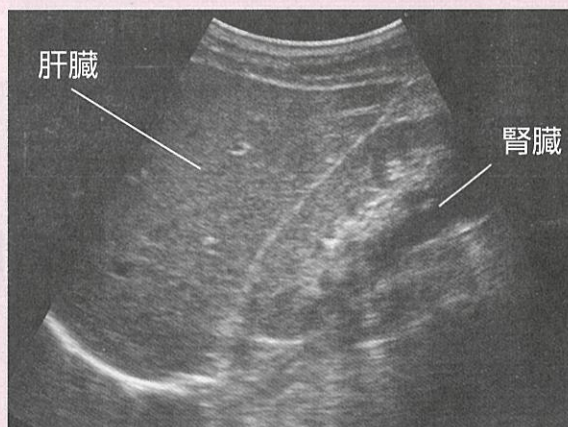
脂肪肝とは、肝細胞の約30%以上に脂肪がたまっている状態です。主に中性脂肪がたまります。

脂肪肝の超音波画像



腎臓（腎皮質）と比較して、肝臓の輝度が高い。（白い）

正常な超音波画像



肝臓と腎臓（腎皮質）との輝度に差異を認めない。

アルコールを飲まない人の脂肪性肝炎 NASH(ナッシュ)について

肝臓に脂肪がたまっているだけなら、悪い経過は、たどらないとされてきました。

しかし、アルコールを飲まない人の脂肪肝から起こる肝炎を **NASH (ナッシュ)** と呼び、肝硬変、肝がんへと進行する可能性があることがわかってきました。

脂肪肝の人の約10%が、NASH (ナッシュ) とも言われています。